



このたびはリコーエレメックス時計をお買い上げいただき
ありがとうございました。

ご使用の前に必ずこの取扱説明書を
よくお読みのうえ正しくご愛用くださ
いますようお願い申し上げます。

この取扱説明書に記載されている
機種番号は、時計の裏蓋に刻印さ
れている6桁の番号のうち、上3桁
の表示です。なお、お読みになった
あとは、いつでも見られるところに
必ず保存してください。



表示について

- 製品を安全に正しくお使いいただき、ご自身や第三者への危害や財産への損害を未然に防止するため、絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。



この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損傷のみの発生が想定される内容を示しています。

安全上のご注意(安全に正しくお使いいただくために)



- 乳幼児の手の届くところに時計本体や部品を置かないでください。
部品を乳幼児が飲み込んでしまう恐れがあります。万一飲み込んだ場合は、身体に害があるため、ただちに医師とご相談ください。



- 次のような場合ケガをするおそれがありますので、ご使用を中止してください。
 - ・時計本体やバンドが腐食・変形等により鋭利になった場合
 - ・バンドのピンが飛び出してきた場合
- ※ケガをするおそれがあります。ただちに買い上げ店・弊社時計サービスセンターまたはお客様相談室にご相談ください。



- アレルギーやかぶれを起した場合
ただちに時計の使用を中止し、皮膚科などの専門医に相談してください。



- その他のご注意
 - ・乳幼児に時計が触れないようにご注意ください。ケガやアレルギーを引き起こすおそれがあります。
 - ・商品の分解・改造はしないでください。

製品仕様

使用貴石数	24石
型式	機械式自動巻時計
携帯精度	平均日差-10秒～+30秒
作動温度範囲	-10℃～+60℃
持続時間	約42時間以上(自動巻き)
振動数	28,800回/時(8ビート)

※ 仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

時刻の合わせ方(りゅうず操作)

●時刻の合わせ方



りゅうずを引き出すと秒針が止まります。あらかじめ秒針を0秒の位置に止め、りゅうずを左にまわして時・分針を正しい時刻より4～5分進めてから逆回転で合わせると正確に合わせることができます。正しい時刻に合わせた後、時報と同時にりゅうずを軽く押しこんでください。

機械式時計について

●ぜんまいについて

この時計は、ぜんまいを原動力にして動いています。
ぜんまいを十分に巻き上げると時計は約42時間動作します。
ぜんまいを常に十分に巻き上げてお使いいただくと、安定した精度を維持することができます。

●ぜんまいの巻き上げについて

この時計は、機械式自動巻時計(手巻き機能付き)です。
腕に着けて使用すると腕の動きでぜんまいが巻き上げられます。1日8時間以上携帯することをおすすめします。
※デスクワークなど、腕の動きが少ない場合は、ぜんまいの巻き上げが不足することがあります。その場合は手動で巻き上げてください。

機械式時計について(つづき)

- ぜんまいを手動で巻き上げる
りゅうずを押し込んだ状態にしてりゅうずを右回り(時計回り)に回転すると、ぜんまいが巻き上げられます。
 - ・時計が止まった状態からりゅうずを約40回転させると、ぜんまいが十分に巻き上げられた状態になります。
 - ・ぜんまいが十分に巻き上げられた状態からさらにりゅうずを回しても、ぜんまいが切れる心配はありません。
- 機械式時計の精度について
本書に記載されている精度表示は、常温時における静的精度です。機械式時計の精度は、次の使用条件などにより精度範囲を超える場合があります。
 - ・ぜんまいの巻き上げ量
 - ・姿勢
 - ・使用環境(温度/磁気/衝撃など)
- ぜんまいの巻き上げ量
機械式時計は、ぜんまいが十分に巻き上げられた状態が最も安定した精度を維持することができます。
- 姿勢
機械式時計の精度は、重力の影響を受けて変化します。腕に着けているとき、時計はさまざまな姿勢(向き)になるため、重力の向きが刻々と変わり、精度に差が生じます。
- 使用環境(温度/磁気/衝撃など)
 - ・機械式時計は、精度を制御する部分に金属部品が使われているため、温度変化による金属の膨張、収縮の影響を受けて精度に差が生じます。
 - ・機械式時計は、金属の部品を使用しているため、磁気の影響を受け、精度に差が生じます。時計の精度を保つためには、強い磁気が発生する物に近づけないようにしてください。
 - ・強い衝撃や振動を受けた場合も精度に差が生じます。

時計の取り扱い上のご注意

●防水性能について

時計の裏蓋の防水性能表示をご確認の上、
下記を参照してください。

区分	ケースの裏蓋の表示	お取扱方法
日常生活 用防水	WATER RESISTANT (W.R.) の表示がある	日常生活での「水がか かる」程度の環境であ れば使用できます。



注意

※日常生活用防水は洗顔などには使用できませんが、水中での使用はできません。

※りゅうずはきちんと押し込んで、ご使用ください。

※時計本体に水や汗、汚れが付着したままにしておくのはお止めください。防水時計でもガラスの接着面・パッキンの劣化や、ステンレスが腐食することにより、防水不良になるおそれがあります。

※水中または水滴がついた状態でのりゅうず操作はしないでください。時計内部に水分が入りくもりの発生となることがあります。

※浴室やサウナへの持ち込みはお止めください。蒸気や石けん、温泉の成分などが防水性能の劣化を早めてしまう場合があります。

※時計の内部にも少量の湿気がありますので、外気が時計内部の温度より低い場合にはガラス面がくもる場合があります。くもりが長時間消えない場合には、お買い上げ店・弊社時計サービスセンターまたはお客様相談室にご相談ください。

※水道水を蛇口から直接かけないでください。

●温度について

極端な高温/低温の環境下では時計が停止したり、機能が低下する場合があります。製品仕様の作動温度範囲外でのご使用はおやめください。

●磁気について

強い磁界の中では、ムーブメント部品が磁気を帯び精度が大きくずれることがあります。磁気の強い健康器具(磁気ネックレス・磁気健康腹巻など)、冷蔵庫のマグネットドア、バックの留め具、携帯電話のスピーカー部、電磁調理器具などに近づけないでください。

●衝撃について

床面に落とすなどの激しい衝撃は与えないでください。外装・バンドなどの損傷だけでなく機能、性能に異常を生じる場合があります。

●化学薬品・ガス・水銀について

化学薬品・ガスの中でのご使用はお避け下さい。シンナー・ベンジンなどの各種溶剤およびそれらを含有するもの(ガソリン・マニキュア・クレゾール・トイレ用洗剤・接着剤・撥水剤など)が時計に付着しますと、変色・溶解・ひび割れ等を起こす場合があります。薬品類には十分ご注意ください。また体温計などに使用されている水銀に触れたりしますと、ケース・バンド等が変色することがありますのでご注意ください。

●保護シールについて

時計のガラス部分や金属部分(裏蓋、バンド、中留め)にシールが貼られているときは、ご使用前に必ずはがしてください。シールのすき間に汗や水分が入り込むと、皮膚のかぶれや金属の腐食の原因なる場合があります。